

安中市 議会だより

◆発行日 平成25年7月19日 ◆発行 安中市議会 ◆編集 安中市議会報編集委員会 ◆印刷 (株)ヒューマンサポート



武家長屋

安中市のマスコットキャラクター“こうめちゃん”と武家長屋を訪れました。
大河ドラマ「八重の桜」の放送により大勢の観光客でにぎわっています。



- ◆6日 総務文教常任委員会
- ◆7日 福祉民生常任委員会
- ◆10日 経済建設常任委員会
- ◆11日 本会議 一般質問
- ◆14日 本会議 委員長報告、
質疑、討論、採決。
市長提出議案十件を
原案可決、閉会。

託。
議案を各委員会に付

託。
議案を各委員会に付

◆4日 本会議 会期の決定、
議案十一件を上程
(内一件を即決)

定例会のあらまし

平成二十五年安中市議会第二回定例会は、六月四日から六月十四日までの十一日間の会期で開催されました。
この定例会に市長から提出された議案は、人事案件や工事請負契約締結、条例の制定や一部改正など、あわせて十一件が提出されました。



議会を傍聴しましょう！

次の定例市議会は、
9月2日～9月18日
までの予定です。



今定例会における一般質問は、
6月11日に行われ、10名の議員が
市政全般について、当局の所信を
ただし、活発な議論が展開されま
した。

質問者全員の質問と答弁の要旨
を質問者の原稿に基づき発言順に
掲載しています。

地域振興・子育て支援策について

民声クラブ 佐藤 貴雄

地域振興について

問 「八重の桜」終了後の地域振興策を伺います。

答 ドラマのブームを一度性にせず、案内板の充実・ガイドの増員・会津との交流等、関係団体と協力して取組みます。

問 「裏・城ヒストリート」のような市民協働事業の取組みを伺います。

答 地域振興に協働は重要です。今年は商工会・JAと協働して産業祭を行い、活性化を図ります。

問 協働に関する補助制度について伺います。

答 本市では協働について制度化していません。他市では太田や沼田等に補助制度があり、本市でも地域振興・活性化の支援策を研究・検討します。

問 「子ども・子育て会議」について

答 会議の概要と委員構成・公募等を伺います。
子どもの教育・保育・子育て支援を進める新しい仕組みで、委員は学

放射能対策・農業振興対策・障害者の就労支援について

日本共産党安中市議団 金井 久男

放射能対策について

問 識経験者と子の保護者、子育て関係者です。公募も前向きに検討します。

答 母親の育児負担軽減と子育て支援は当事者の意見反映と幅広い施策が必要で、会議の詳細と今後の取組みを伺います。

問 会議は今年度三回を予定し、保護者対象のニーズ調査、事業内容の検討をします。庁内各課と連携し、支援事業計画策定後は継続的に点検・評価・見直しの作業と新施策の提案もいただきます。

答 「子どもを産み育てるなら安中市」を目指します。

放射能対策について

問 保育園・幼稚園などの除染はどの様に行われているか伺います。

答 秋間中央保育園、白鳩保育園など二園で実施しました。

問 幼稚園から要望が出た場合、対応できる態勢があるか伺います。

答 すべて子ども課で対応していきます。

問 下仁田町では、汚染土から高濃度のセシウムが検出されています。今後、放射能食品測定器で土壌の測定をすることができないか伺います。

答 基準などが示されていないので、大変難しいと判断しています。

問 蚕糸・絹業提携システム後の対策について



碓氷製糸の工場内

していません。

問 来年度からkg当たり千五百円の補償金がなくなり、碓氷製糸も繭代全額負担ではやっていけない訳ですがどの様に対応していくのか伺います。

答 蚕糸業の持続的発展を目指しているので状況を把握に努めていきます。

問 富岡市では二年前から単独で補填しています。市の見直しを伺います。

答 他市の取組状況など参考に要望します。
その他、障害者法定雇用率の実態と対策について質問しました。



市内の幼稚園

自然エネルギー導入の取り組み・少子化対策について

日本共産党安中市議団 櫻 井 ひろ江

問 エネルギーの地産地消をめぐってはどうか

答 地球温暖化対策や原子力発電所事故を受け、安全でクリーンな自然エネルギーの導入が大きく注目されています。再生可能エネルギーの導入や省エネ施策を進め、エネルギーを地域で作って地域で使う地産地消に取り組む、地域内経済効果につなげてはどうか伺います。

問 小水力発電の取り組みについて

答 市内浄水場内の着水井、沈澱池辺りで発電し、常夜灯等の電源の利用など、浄水場での小水力発電の可能性を伺います。



メガソーラー発電所

地域防災計画・残土埋め立てに関する条例について

ふおれすと 高橋 由信

問 災害の想定について

答 昨年度見直された、地域防災計画の前提となる災害の想定を伺います。



水防訓練

問 断層帯に関わる地震で、おおよそ震度七の発生を想定しています。人的被害は、死傷者が最大で千三百五十九名、建物の全半壊が一万九千八百一棟(市内の約四四%)、断水が二万五千四百八十八世帯(約九三%)となる想定です。計画の見直しについて

答 新たな想定を基に、どこに重点をおいて、変更されたのか伺います。

問 減災・広域応援体制・自主防災組織の育成・災害時要援護者対策・平時の訓練の重要性・ICTを中心とした通信設備を重点に見直しました。実施計画について

答 震災後、防災について三回の一般質問をしました。担当課職員の努力により、メール配信・自主防災組織七団体の結成・災害時要援護者の名簿ソフトの準備等、実現したもの、又早急に取り組まなければならない課題が多くあります。計画をただけでは机上の空論になってしまいます。今後どのように計画を実行していくのか伺います。

問 地方公務員の給与削減問題について

答 国の東日本大震災復興支援における地方交付税に絡む、公務員給与削減要請に対し、全国自治体の状況を伺います。

公務員給与削減問題・住民活動の夏場対策・庁舎の維持管理等について

公明党 上原 富士雄

問 市長の態度表明が百十七団体、減額決定の自治体が二十七、検討中が千五百四十四、その他が百五十となっております。

答 市の見送りについて。副市長を置かず行政効率化を図り、専属運転手や人員削減等で人件費を節減、寄与しています。



市役所庁舎

通学路の安全対策・保育事業・有害鳥獣対策について

公明党 武者 葉子

路線バス対策とタクシー利用券助成事業・碓氷峠鉄道施設と世界遺産について

平成の会 中島 徳造

防災対策・放射性物質について

清風クラブ 柳沢 浩之

問 通学路の安全対策について

答 昨年実施した緊急総点検後の状況を伺います。

問 要点検箇所五十五箇所のうち、三十三箇所と新たに十五箇所を加えた三十九箇所対策を講じました。

問 子供の生命を守るための対応を伺います。

答 今年度十箇所、来年度四箇所が着工予定です。

PTAや地域の協力で点検、安全指導を実施し、児童・生徒の安全確保に努めます。

問 待機児童対策について

答 少子化の進む中、子育て世代への支援策は重要です。現状を伺います。

問 待機児童は、現在0人です。乳幼児の入所の増加がみられますが、市内十六の保育園で可能な限り受け入れ努力をしています。

問 産休から職場復帰のため、途中入園希望への受け入れ体制を伺います。



スクールゾーン

問 途中入園希望は、年々増加しています。市では、受け入れ保育園への補助事業を実施し、希望に添えています。

問 病後児保育について

答 利用児が増えていますが、急な発熱・体調不良児の受け入れの体制を伺います。

問 現状では、医師の診療情報提供書の提出児童のみの預りとしています。

問 その他、有害鳥獣対策の状況と、ハクビシンや、あらいぐま被害の対応について質問しました。

問 路線バス対策事業と今後の方向性について

答 路線バス事業の赤字幅が毎年、七千五百万円から八千万円もあります。その見直し事業で平成二十年度から相当額の予算と時間を使い、成果は一部地域でのデマンド運行の導入くらいです。好評のデマンド運行の拡充を図るか、図れないのであれば、路線バス事業を見直し、その分をタクシー利用券補助に回すべきです。早く方向性を出すべきですが考えを伺います。

問 様々な検討を行ってきました。利用者が増えているデマンド型を松井田地区に延伸等ができるのか、タクシー補助制度を拡大すべきか等、まずは市内で検討を行います。

問 碓氷峠鉄道施設と世界遺産について

答 碓氷峠鉄道施設は、「富岡製糸場と絹産業遺産群」の一つとして世界遺産暫定リスト入りしていましたが、平成二十三年十月に暫定リストから外されました。手続きを経た平成十八年以来これまで一度も経過説明や報告がなかったが、何故なのか。市として、どんなアピール活動をしてきたのか、伺います。

問 報道で十分理解されたいものと判断しました。碓氷線文化財インストラクターの方々にボランティアガイドを年間百日以上実施して頂いたり、ガイドブックを作成するなどして世界遺産登録推進をPRしてきました。



路線バスと乗合タクシー

問 避難所としての学校体育館の整備について

答 災害発生時に児童・学童・生徒・住民の方が避難された場合、学校関係者に防災マニュアル等の説明や指導、及び行政の対応について伺います。

問 災害時の危機管理は、各学校で防災計画や防災マニュアルを定め児童・生徒の安全確保に努めています。住民の方が避難してきた場合は、市長部局との連携を密に、校長会と協議し、各校が同一対応をとれる取組みを行っています。



磯部小学校体育館

空き家対策・ごみ問題について

民主・社民クラブ 小宮 ふみ子

空き家の現状と課題について

問 空き家の現状と空き家に関する相談について伺います。

答 平成二十年度住宅土地統計調査では、空き家総数は三千五百五十件です。腐朽や破損のあるものが千六百十件です。相談件数は昨年度関係各課合わせて三十四件です。

問 他市の空き家条例とその効果を伺います。

答 県内他市では渋川市のみで、制定後間もないため、その効果は表れておりません。

問 空き家の火災原因は放火が多いと言われていますが、消防体制との連携について伺います。

答 安中消防署は毎年空き家調査をしています。今後、情報提供に連携を検討していきます。

問 資源ごみ回収の推進について



クリーンセンター内

て伺います。

答 可燃ごみの組成分析によりますと、紙、布が五〇%を占めています。古紙の資源化は必要不可欠であり、今年度中にモデル地区を選定し、来年度には実施したいです。

問 古紙回収の具体的な効果について伺います。

答 千二百八十八t資源化されると仮定すると、リサイクル率十二%が十七・八%になり、古紙の売却益が市の歳入となり、クリーンセンターの焼却量の減少で、施設の延命も期待できます。

公共建造物の保全・改修について
市営団地について

無所属 小林 訂史

公共建造物の保全・改修について

問 橋梁の管理状況について伺います。

答 長寿命化点検結果に基づき耐震化も含めて順次修繕を行います。

問 橋梁の長寿命化の計画管理について伺います。

答 定期的に点検を行い損傷が小さな段階での予防保全型の維持管理を行います。

問 公共施設の耐震化状況について伺います。

答 小中学校の耐震改修は順調に進んでおり、それ以外の施設についても概ね計画通り進んでいます。中央体育館等八施設につきましては小中学校の耐震改修が完了してからの計画になっています。

問 市営団地について

問 市営団地の改修予定について伺います。

答 長寿命化計画に基づき、今年度から秋間団地の改修事業に着手します。改修終了後は並木団地を

予定しています。

問 点検改修内容について伺います。

答 建物の構造躯体・コンクリートの浮きや鉄筋の爆裂などの痛みの程度、給排水・給湯管などの腐食の程度、床のたわみや摩耗による劣化状況などにより、改修内容や保全計画を定めています。

問 遠丸団地空き地の今後について伺います。

答 第一中学校校舎の耐震改修工事に伴い、職員の駐車場に充てる予定です。残りの空き地の計画は決まっております。



市営団地

少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度の国負担割合を2分の1に復元することを求める意見書

義務教育費国庫負担制度は、義務教育の機会均等とその水準の維持・向上及び地方財政の安定のため国が必要な財源を保障するとの趣旨で確立されたものであり、これまで我が国の義務教育の水準向上に大きな役割を果たしてきた。

しかしながら、平成18年に義務教育費国庫負担金の負担率が3分の1に縮小されたことや地方交付税削減の影響、厳しい地方財政の状況などから、地方自治体において教育予算の確保が困難となっており、義務教育の円滑な推進に重大な影響を及ぼし、少人数教育の実施、学校施設、旅費・教材費、就学援助・奨学金制度など教育条件の自治体間格差が広がってきている。

義務教育の水準確保と地方教育行政の充実、1人ひとりの子どもたちにきめ細かな教育とよりよい教育環境を保障するためには、1クラスの学級規模を引き下げる、計画的な定数の改善と教育予算の一層の拡充が必要である。

よって、本議会は、国会及び政府に対し、少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度の国庫負担割合2分の1復元に向け、下記の事項を実現されるよう強く要望する。

記

1. 少人数学級を推進すること。具体的学級規模は、OECD諸国並みの豊かな教育環境を整備するため、まずは速やかに義務教育全学年における35人以下学級を実現すること。
2. 教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の国庫負担割合を2分の1に復元すること。以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成25年6月14日

安中市議会議長 伊藤 清

人事関係議案

人権擁護委員の任期満了に伴う推薦について、意見を求められましたので、これに同意しました。

○人権擁護委員

松井田町新堀
しみず 博様
清水 博様

人事関係以外の議案

○安中市立東横野小学校
校舎耐震補強及び大規模改造建築工事請負契約締結について

耐震診断結果による校舎耐震補強等事業を行うにあたり、業者と請負契約を結ぶため、地方自治法及び市条例の規定に基づく議会の議決を求めらるるものです。

○安中市立松井田小学校
校舎耐震補強及び大規模改造建築工事請負契約締結について
○安中市立第一中学校校舎耐震補強及び大規模



松井田南中仮設校舎

改造建築工事請負契約締結について

○安中市立松井田東中学校校舎耐震補強及び大規模改造建築工事請負契約締結について

○安中市立松井田南中学校校舎耐震補強及び大規模改造建築工事請負契約締結について
○安中市子ども・子育て会議条例の制定について

「子ども・子育て支援法」の施行に伴い、子どもの教育・保育や、地域の子育て支援の充実を目的とした、各施設を総合的に進める新しい仕組み

づくりを推進するため、「子ども・子育て会議」の設置が必要となり、条例を制定するものです。

○安中市体育施設条例の一部を改正する条例について

三月末で廃校となった坂本小学校の体育館と、安中榛名駅の北側の秋間みのが丘北側広場の新設に伴い、体育施設として利用するため、条例の一部を改正するものです。

○公立碓氷病院使用料及び手数料条例の一部を改正する条例について

公立碓氷病院の改修に伴い、特別病室の整備が終了するため、料金の見直しを行うのと同時に、診断書等の文書作成手数料についても見直しを行うため、条例の一部を改正するものです。

○平成二十五年安中市一般会計補正予算

○平成二十五年安中市病院事業会計補正予算 (第一号)

意見書案を可決

今定例会には、一件の意見書(案)が提出され、可決し、内閣総理大臣をはじめ、国の関係省庁に送付しました。

《可決された意見書》

○少年数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度の国負担割合を二分の一に復元することを求める意見書

(本文は前ページに掲載してあります。)

請願・陳情

皆様から提出されました請願及び陳情の審査結果は次のとおりです。

《継続審査》

○上毛天然瓦斯工業(株) 移転に伴う跡地利用についての陳情書

次の定例会(予定)

次の定例会市議会は、九月二日から九月十八日までの十七日間の会期で開催される予定です。

◇2日〓本会議 開会、議案の上程等

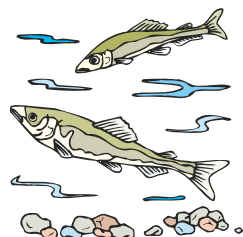
◇12日〓本会議 一般質問

◇13日〓本会議 一般質問

◇18日〓本会議 委員報告、採決等、閉会



みのが丘北側広場



編集後記

市内小・中学校五校の校舎で耐震補強建設工事が行われています。学校の前を通ると、校庭に仮設校舎が建てられ、工事の進行状況が良く分かります。学校施設は、教育において大変重要です。また、災害時には、地域住民の緊急避難場所としての役割も果たしています。工事中は、万全な安全対策で事故の無いようにしてほしいです。

来年の春頃には新校舎が完成され、快適な学習環境となることでしょう。児童生徒の教育活動の充実と健やかな成長を願っています。(小宮)

連絡先

安中市役所
議会事務局宛
☎ 382-1111
内線 1349番

編集委員

子江之雄史 博司
みろ 浩貴 訂敏 完葉
宮井 沢藤 林井 岡者
小櫻 柳 佐小 今吉 武